

### 実態と課題の把握

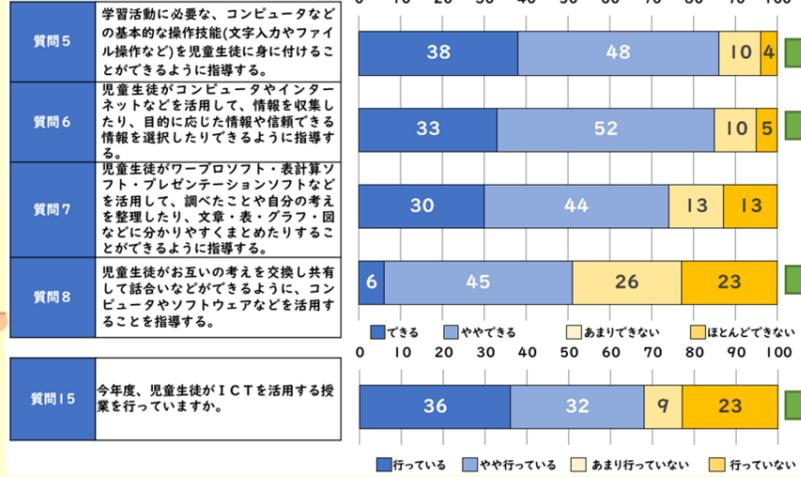
ICTを活用した授業ってどの学級でも行っているのかな？

子どもたちの情報活用能力はバランスよく育成できているのかな？



### アンケート結果

指導者意識調査の結果(一部抜粋)



### アンケート結果から

ICT機器の指導は大丈夫そう。

集める力、まとめる力育成の指導はできているようだ。

ICT機器を子どもたちは使い慣れているな。

伝える力の育成に課題がありそうだ。

伝える力の育成をキーワードに、先生たちがICTを活用したくなるような研修が必要だぞ！



### 校内研修のねらい

研究授業を基に、本校の指導者の実践を振り返り、ICTを活用し、相手にわかりやすく伝える力の育成についての理解を深める。

### 第1回校内研修

まず、ICT活用研修モジュール①で自校の実態と課題を全体で共有し、課題である「相手にわかりやすく伝える力の育成」の必要性を感じてもらおう。



実態と課題を共有し、伝える力の育成の事例を紹介し、授業づくりができるようになる必要がある。ICT活用研修モジュール⑦が使えるな。

第1回校内研修として計画する時間	約 50 分間
ICT活用研修モジュール	ICT活用研修モジュールを選定した理由
モジュール番号: ①、⑦、⑧	・本校の児童生徒の情報活用能力育成の実態と課題を学校の指導者全体で共有し、課題である相手にわかりやすく伝える力の育成を意識しながら授業が行えるようにしていきたい。



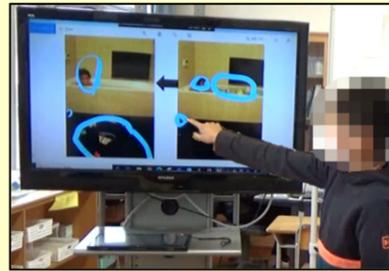
体育科の学習の中で、仲間の動きのよいところを集め、技のポイントを伝えられるような活動を考えていきたい。

面積を求め方を考えるとき、タブレットを使えば、いろいろな子どもの考えを瞬時に共有できそうだな。



### 授業実践

次に、第1回校内研修で作成した「授業プランシート」を基に、先生たちに授業を行ってもらおう。



小学校第4学年 日本語指導

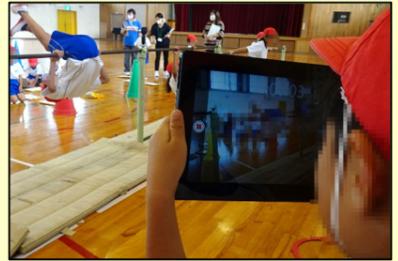


小学校第5学年 国語科

### 本時のねらい

自分の姿を客観的に振り返ったり、友だちの動きと比べたりしながら、うまくできるコツや技の完成度を上げるポイントを伝え合うことができる。

自分自身の姿を動画で確認しながら、ペアで話し合いをする中で、動きのポイントに気付くことができた。気付いたことを練習に生かしたいという意欲につながっている子どもの姿があった。また、子どもたちは技を上達させたいという目的意識をもちながら、ICTを活用することができた。



小学校第2学年 体育科

### 第2回校内研修

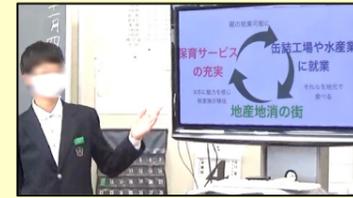
最後に、第2回校内研修は研究授業と研究協議を行いたい。研究協議で考えたことを次の実践に生かせるようにしていきたい。そんな研修になるように、研究協議の視点と流れを計画しよう。

相手にわかりやすく伝える力を育成するという研修のねらいが達成できるように、研究協議の視点は「児童生徒がICT機器を効果的に活用し、相手にわかりやすく伝えることで、主体的・対話的で深い学びを推進していくには」にしよう。この視点を基に、研究授業の「授業プランシート」を作成しよう。

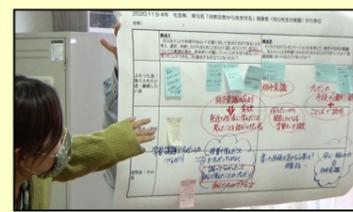


第2回校内研修の研究協議の視点と流れ	
研究協議の視点 児童生徒がICT機器を効果的に活用し、相手にわかりやすく伝えることで、主体的・対話的で深い学びを推進していくには	
時間	内容
14:40	開会のあいさつ
14:45	授業者より(第5時と本日の授業とのつながりも踏まえて、研究協議の視点に合わせて)
14:50	研究協議の視点について、成果と課題の共有 ① 研究協議の視点「児童生徒がICT機器を効果的に活用し、相手にわかりやすく伝えることで、主体的・対話的で深い学びを推進していくには」について、児童の姿を基に成果と課題を考える。(校内研修の研究協議の前までに書いておく。)(付箋を使用:成果…青、課題…ピンク) ② グループで考えたことについて意見整理(成果と課題を出し合った後に改善案を考える。)
15:15	③ グループごとに発表
15:25	他の教員が作成した授業プランシートを紹介する。(1~2名)
15:30	各学年、教科等で新たに授業を構想する。(まだ授業実践されていない場合は、授業プランシートを基に授業の構想を練りあげる。)
15:40	閉会のあいさつ

### 研究授業の様子



### 研究協議の様子



### 共有された協議内容

- 政策をわかりやすく伝えるための三つのポイントを示し、それを基にまとめる活動や伝える活動を行うことで、より教科のねらいに迫ることができた。
- まとめて伝えることで、考えを整理しながら、自分の考えをもつことができた。
- それぞれがまとめた内容を大型提示装置に映すことで、瞬時に情報共有ができ、より対話的な授業になった。
- 児童生徒がICTを活用した授業を行うことで、発表の機会が増えた。

### 実践校の先生方の声



研究授業の実践を参考に、生活科で自分の撮影した写真を見せながら発表する場面を取り入れたところ、2年生でも伝えたいポイントが明確になり、みんなの前で生き生きと発表することができた。今後もいろんな教科で挑戦してみたい。



わかりやすく伝えるためには、伝えたいポイントを共有することが大切だということ全体で確認できた。また、先生方は普段からICTの活用について意欲的に取り組んでいるが、ただICTを活用すればよいというのではなく、しっかりと授業のねらいを意識しながらICT機器を活用していくことが大切であるということも確認できた。

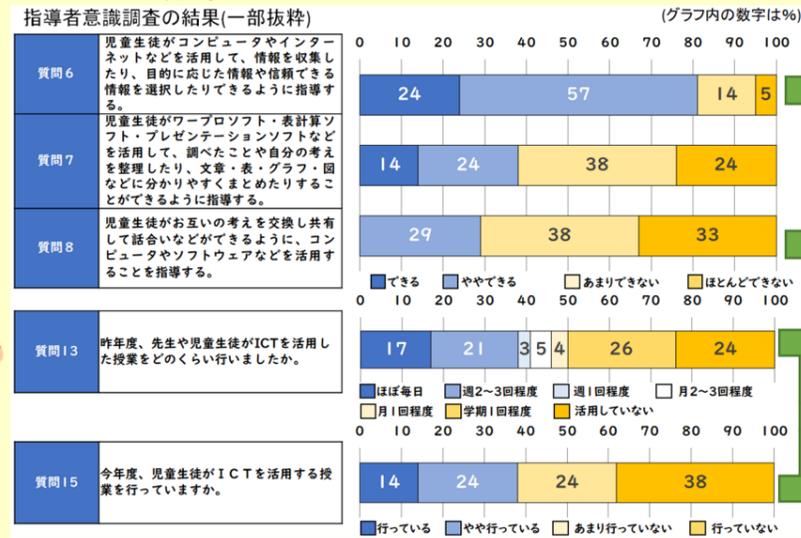
### 実態と課題の把握

タブレットを活用している先生に限られているような気がするけど…実際はどうなんだろう？

子どもたちの情報活用能力はバランスよく育成できているのかな？



### アンケート結果



### アンケート結果から

集める力の育成を意識しながら指導できているようだ。

授業で子どもたちがICTを活用する機会を増やしたいな。

ICTを活用した授業のイメージをもてる教員ともてない教員の二極化がみられるな。

まとめる力、伝える力の育成に課題がありそうだ。

各学年部から、ICTを活用した授業のイメージをもっている先生に**代表者(リーダー)**となってもらい、**事前研修**を行おう。その方が、他の先生方が授業のイメージをもちやすくなるな。

### 校内研修のねらい

研究授業を基に、ICTを活用した授業のイメージをもつことができる指導者を増やし、まとめる力、伝える力の育成に焦点を当て、ICT活用のよさや楽しさを感じられる授業を考える。

### 第1回校内研修

まず、ICT活用研修モジュール①で自校の実態と課題を全体で共有し、**ICTを活用した授業のイメージをもつ**ことができるよう、体験を行ってもらおう。ICT活用研修モジュール②が使えるな。

まとめる力、伝える力の育成の事例を紹介し、授業づくりができるようにする必要があるな。ICT活用研修モジュール⑥、⑦が使えるな。



第1回校内研修として計画する時間 約 60 分間	
ICT活用研修モジュール	ICT活用研修モジュールを選定した理由
○代表者への事前研修 モジュール番号:①、②、③、⑧	・児童の情報活用能力育成の実態と課題を共有して、その課題(まとめる力の育成、伝える力の育成)の解決に向けた授業づくりを行うことができるようにするため。
○学校の指導者全体への研修 【3回に分けて研修を行う】 モジュール番号:①、②、⑥、⑦、⑧	・児童の情報活用能力育成の実態と課題を共有して、どのようなICT活用の実践があるのかを知り、授業づくりにつなげていくため。



秋探しで見つけたものを写真に撮って、どの植物か調べたり、調べたことを発表したりする授業を行いたい。

生産者の工夫や努力を捉えるために、誰かに伝えたいという相手意識をもたせ、その相手に伝わるよう、まとめていく授業をしていきたい。



### 授業実践

次に、第1回校内研修で作成した「授業プランシート」を基に、**代表者が研究授業を実施**し、まとめる力・伝える力の育成について先生方に確認してもらおう。



小学校第5学年 理科



小学校第4学年 算数科

### 本時のねらい

自分たちの記録や動画を見比べることで、日かげの位置と太陽の位置の変化との関係を捉えやすくし、場所や記録方法が違ってその関係が変わらないことに気付くことができる。



動画から太陽とかげの動きの変化のひみつを見つけようと、何度も見返しながら探すことができた。動画ならではの「何度も繰り返し見られる」「イメージがもちやすい」というよさがみられた。



小学校第3学年 理科

### 第2回校内研修

最後に、第2回校内研修は研究授業と研究協議を行いたい。研究協議で考えたことを次の実践に生かせるようにしていきたい。そんな研修になるように、研究協議の視点と流れを計画しよう。

まとめる力、伝える力を育成するという研修のねらいが達成できるように、研究協議の視点は「3年生に地震から安全に身を守る方法を伝えるための三つのポイントを事前に児童と共有したことはまとめる力の育成に有効であったか」にしよう。この視点を基に、研究授業の「授業プランシート」を作成しよう。



第2回校内研修の研究協議の視点と流れ	
研究協議の視点 3年生に地震から安全に身を守る方法を伝えるための三つのポイントを事前に児童と共有したことはまとめる力の育成に有効であったか	
時間	内容
15:50	開会のあいさつ
15:55	授業者より(研究協議の視点に合わせて)
16:00	研究協議の視点について、成果と課題の共有 ①研究協議の視点「3年生に地震から安全に身を守る方法を伝えるための三つのポイントを事前に児童と共有したことはまとめる力の育成に有効であったか」について、児童の姿を基に成果と課題を考える。(校内研修の研究協議の前までに書いておく) ②グループで考えたことについて意見整理(成果と課題を出し合った後に改善策を考える。)
16:20	③グループごとに発表
16:30	他の教員が作成した授業プランシートを紹介する。
16:45	各学年で授業プランシートを用いて新たに授業を構想する。 閉会のあいさつ

### 研究授業の様子



### 研究協議の様子



### 共有された協議内容

- 児童がタブレット操作をスムーズに行っていて、非常に慣れている。低学年から使えるように系統的に指導することが大切である。
- 地震の時に危険な場所を3年生に伝えたいという相手意識をもたせることが、伝える力の育成において大切である。
- 三つのポイントを基にしたアドバイスカードがあることで、見る視点をはっきりさせることができ、自身のスライドを作るときにも意識ができていたと感じた。

### 実践校の先生方の声



リーダーに勧められて、体育科で自分の記録データを入力してグラフ化させたところ、目標値を意識して新記録を目指そうと努力する姿が見られた。また、「タブレットを使って自分たちの跳んでいる様子を見て、跳び方を直したい!」という声が聞かれ、教科の学びを深めようとする姿が見られた。



研修中に授業体験を取り入れ、代表者の授業を見ることで、多くの先生方にICTを活用した授業のイメージを具体的にってもらうことができた。これからも、「①まずはやってみる②やっている中で課題を共有する③課題解決において学校全体で交流する④実践を積み重ねる」ことを大切にしながら、学校の先生方とともにICTを活用していきたい。

### 実態と課題の把握

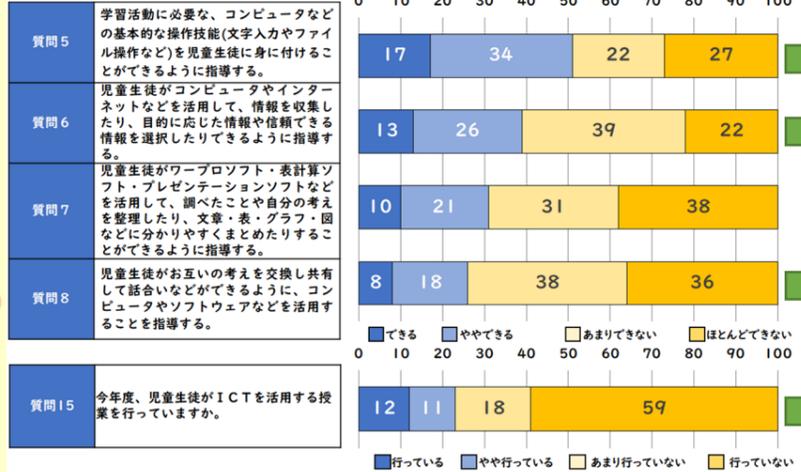
子どもたちの情報活用能力を意識した指導ができていますか？

うちの学校は先生の人数が多いな。全員集合しての研修は計画できるかな？ また、授業については、各教科部で話し合いをしてもらう方が授業のイメージをもってもらえるのかな？



### アンケート結果

指導者意識調査の結果(一部抜粋)



### アンケート結果から

半数の先生はICT機器の指導ができそうだ。

どの力の育成にも課題が見られるが、今回は集める力の育成に焦点を当て取り組む必要があるな。

子どもたちがICTを活用する授業を全教科に広げていきたいな。

集める力の育成をキーワードに、先生たちがICTを活用したくなるような研修が必要だぞ！

各教科部で授業構想をしたり、授業参観を計画したりすると、ICTを活用した授業のイメージをもつことができる先生が増えるな。

全員集まっての研修は難しいから、今回はOJTメンバーから各教科部に広げていこう。

### 校内研修のねらい

研究授業を基に、集める力の育成に焦点を当て、生徒がICTを活用する授業を、OJTメンバーから各教科部に広げ、学校全体で情報活用能力の育成を目指す。

### 第1回校内研修(OJT)

まず、ICT活用研修モジュール①で自校の実態と課題を全体で共有し、子どもたちがICTを活用する授業のイメージを、まずはOJTメンバーにもってもらえるよう、ICT活用研修モジュール②を使おう。



実態と課題を共有し、集める力の育成の事例を紹介し、授業づくりができるようにする必要があるな。ICT活用研修モジュール⑤が使えるな。

第1回校内研修として計画する時間 約 50 分間	
ICT活用研修モジュール モジュール番号:①, ②, ⑤, ⑧	ICT活用研修モジュールを選定した理由 本校の生徒の情報活用能力育成の実態と課題を学校の指導者全体で共有し、ICTを活用した授業のイメージをもち、課題である集める力の育成を意識した授業が行えるようにしていきたい。



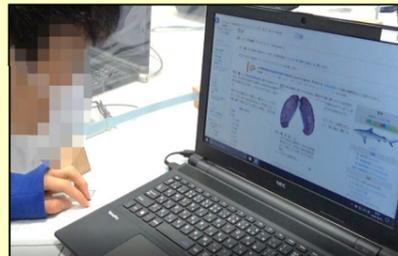
算数のかけ算の単元で、九九を使って数えられるものを写真に撮ってきて、かけ算が身の回りで使われていることを知る授業を行いたい。

教師が活用するだけでなく、子どもたちがICTを活用するという意識をもつことができた。



### 授業実践

次に、第1回校内研修で作成した「授業プランシート」を基に、OJTメンバーの各教科部の代表者が研究授業を実施し、集める力の育成について確認してもらおう。



中学校第2学年 理科



中学校第3学年 社会科

### 本時のねらい

どのような基準で動物のなかまわけがされているかが分かる。

○例題 次の動物はある基準でなかまわけがされています。どのような基準でなかまわけされているか答えましょう。

ヒト	ハト
スズメ	ニワトリ

ただ単に動物の生態を調べるだけでなく、動物のなかまわけをするために、子の産みかたや、呼吸のしかた、主な生活場所など、なかまわけの目的を明確にしてたくさんの情報から必要な情報を取捨選択することができた。(中学校第2学年 理科)



中学校第2学年 理科

### 第2回校内研修

最後に、第2回校内研修は研究授業と研究協議を行いたい。研究協議で考えたことを次の実践に生かせるようにしていきたい。そんな研修になるように、研究協議の視点と流れを計画しよう。

集める力を育成するという研修のねらいが達成できるように、研究協議の視点は「研究授業を基に、生徒がICTを効果的に活用し、必要な情報を収集、選択することができるようにするには」にしよう。この視点を基に、研究授業の「授業プランシート」を作成しよう。



研修の中で、実践された先生の紹介をし、さらにICTを活用した授業の具体的なイメージをもってもらいたい。OJTメンバーを中心に各教科部で「授業プランシート」の作成を行い、新たな授業を構想してもらおう。

第2回校内研修の研究協議の視点と流れ	
研究協議の視点 研究授業を基に、生徒がICTを効果的に活用し、必要な情報を収集、選択することができるようにするには	
時間	内容
15:30	開会のあいさつ
15:35	授業者より(研究協議の視点に合わせて)
15:40	研究協議の視点について、成果と課題の共有 ①研究協議の視点「研究授業を基に、生徒がICTを効果的に活用し、必要な情報を収集、選択することができるようにするには」について、生徒の姿を基に成果と課題を考える。(校内研修の研究協議の前までに書いておく。)
16:00	②グループで考えたことについて意見整理 (成果と課題を出し合った後に改善策を考える。)
16:10	③グループごとに発表
16:15	他の教員の授業実践を紹介する。 各教科部で授業プランシートを用いて新たに授業を構想する。 閉会のあいさつ

### 研究授業の様子



### 研究協議の様子



### 共有された協議内容

- 何のために情報を集めるのかという目的をはっきりさせることが大切である。
- 集める力を育成するために取り組んできたが、まとめる力、伝える力とのつながりを考え、授業を構想することが必要であると分かった。
- 数値をグラフ化したことで、分かりやすく伝えることができた。
- 動画を撮影すると何度も見返すことができ、自分の姿を客観的に捉えることができた。
- ペア学習でICTを用いると、相談しながら進めることができ、対話的な授業になった。

### 実践校の先生方の声

研究授業の実践を参考に、社会科の教科部会で相談して「持続可能な社会」についての具体的な取り組みを調べる活動を行った。課題が大きく検索が難しそうに思えたが、相手にわかりやすく伝えることを意識し、検索ワードを考え、情報を収集したことで、必要な情報を選ぶことができた。



第1回校内研修の前は、ICTを活用した授業を行ってもらえるだろうかと思っていたが、授業でICTを取り入れる先生方が増えてきた。また、集める力を育成するために、どのように活用すればよいか話し合いをする先生方の姿が増え、実践する先生も増えてきた。第2回校内研修で作成した「授業プランシート」を基に教科部会を計画し、学校全体に広げていけるようにしましょう。